



瀬戸小だより

ふれ合う 認め合う 共に学ぶ 笑顔あふれる瀬戸ヶ谷小学校

mail:y3setoga@edu.city.yokohama.jp

学校だより 12月号
令和3年11月30日
横浜市立瀬戸ヶ谷小学校
校長 松永 淳子
TEL 713-8336 FAX 713-9749

瀬戸ヶ谷小学校

検索 

魔法のことば

校長 松永 淳子

師走を迎え、朝晩の冷え込みが厳しくなり、太陽の温もりが心地よい頃となりました。学校の前にある銀杏の木が黄金色に光って見え、その美しさに魅了されると共に、今年も残すところ僅かだという気ぜわしさを感じます。一方で子どもたちは冬休みが来るという楽しみを感じているようです。冬休み前の学習のまとめを行い、有意義な休みとなるようにしていきたいと思います。

さて、11月は昨年度実施することが出来なかった表現週間を行うことが出来ました。感染防止のため学級ごとの実施となりましたので、保護者の皆様には数日に渡っての来校となった方もいらっしゃるご不便をおかけいたしました。今年度の発表の様子はビデオに録り、他の学年の子どもたちに見てもらうことにもなっています。多くの人に見てもらえることは子どもたちの励みとなっていました。各学年でテーマを設け、そこから各自のねらいに沿った活動をどの学年も進めてまいりました。日々、学習したことを繋ぎ合わせたり学習したことを発展させたりとよく工夫されていました。子どもたち一人ひとりの思いや気迫が感じられ、発表当日まで目標をもち努力したことが伝わってきました。この発表を通して端末の活用が進んでいることが感じられた学年もありました。以前は模造紙などに書いていたことが端末を通し大きな画面に映し出されるのを見て、子どもたちの将来の姿も想像することが出来ました。きっとプレゼンテーションの力はこうして育っていくでしょう。

今年の発表は、感染拡大防止を視野にいれての発表となりましたので、少人数のグループに絞ったり舞台と保護者席との間隔を空けたりと発表者と近い位置で全体を見ていただくことは難しかったのですが、同じ時間に同じ空間で発表を見ていただけることで、子どもたちの声の張りや大きさ、表情から緊張感、そして発表後の子どもたちの達成感など感じていただけたのではないのでしょうか。登校時から「緊張する、大丈夫かな、楽しみ」など口々に話していました。発表後の振り返りでは「大成功、すっきりした」などやり遂げたことへの満足感が感じられました。このような経験を通し、子どもたちが力をつけ自信をもって取り組めることが一つずつ増えていくことを願っております。保護者の皆様にはご家庭でたくさんの励ましの言葉やがんばったことについての言葉がけをしていただいたことと思います。ありがとうございました。ご家庭での皆様の言葉がけがどんなにか子どもたちの力になっていったことでしょうか。担任の指導はもちろんですが保護者の皆様の言葉がけや友達からの励ましの言葉は何よりも子どもたちの成長に欠かせない「魔法の言葉」となり力へと繋がっていきます。これからも様々な場面でのお力添えをよろしくお願いいたします。